

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

事業コンセプト

国際物流業務を通して世界の産業とくらしに貢献する

2 中長期の経営戦略

1. サービス多様化

基幹港湾施設の機能強化によるコア事業の強化、グループ企業を活用した新規事業参入

3. モーダルシフト

海上輸送とJR鉄道輸送網を組み合わせた国際複合一貫サービス提供による物流機能強化と環境負荷低減

2. DX推進

港湾関連データ連携基盤構築によるサイバーポート接続、通関業向けクラウドサービス連携、子会社を活用したIT環境整備による業務効率化

4. 海外事業拡大

海外合併会社4社を中心にサービス強化と新規商品開発、海外投資先模索による新たな投資推進

3 対処すべき課題

① 国内市場縮小への対応

- ・ 少子高齢化と人口減少による日本経済力低下で港湾輸出入貨物取扱量減少を予測
- ・ 業者間競争激化に対応した高付加価値貨物の取り込み
- ・ 神戸港をはじめとした主力拠点での収益確保

② 物流コスト上昇への対応

- ・ 2024年問題やコンテナ・トラック運送業での燃料費高騰への対応
- ・ 顧客の物流コスト削減意識強化による価格競争激化
- ・ 行政主導のターミナル効率化推進事業との連携

③ 外部環境変化への対応

- ・ 米国関税政策による自由貿易体制萎縮とサプライチェーン再編への柔軟対応
- ・ 中国からの貨物依存度が高く中国政策の影響を受けやすい構造
- ・ ウクライナ・中東など地政学リスクによる世界経済減速への対応

面接で使えるポイント

- ・ 国際物流業務を通じた世界貢献を実現するため、港湾物流の効率化とDX推進に組織全体で取り組む姿勢
- ・ 海外合併会社4社との連携強化と新規投資先模索による海外事業拡大で、アジア中心のグローバル展開を推進
- ・ 基幹港湾施設投資と高付加価値貨物取り込みにより、少子高齢化による国内市場縮小に対応した安定収益源を確保

証券コード 9365

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
5億円営業利益率
48.3%財務健康度
24点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 31.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
583万円

倉庫・運輸関連業内 26位/31社

平均年齢
43.4歳

倉庫・運輸関連業内 10位/31社

平均勤続
19.1年

倉庫・運輸関連業内 5位/31社

女性管理職
15.9%

倉庫・運輸関連業内 6位/26社

男性育休
50.0%

倉庫・運輸関連業内 20位/24社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに
神戸市に本社を置く運輸・物流企業

主力事業・セグメント

- ・海外 51.8%
- ・Importation 31.1%
- ・Exportation 16.7%

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率48.3%と高い収益性
- ・平均勤続19.1年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

